

作成日: 2012年 8月 8日

改定日: 2023年 6月 7日

安全データシート(SDS)

JIS Z 7253:2019

1. 化学品及び会社情報

製品名:	TGブリリアントブルー
供給者の会社名称:	ダイワ化成株式会社
住所:	〒338-0011 さいたま市中央区新中里 5-7-1
担当部門:	品質保証部
電話番号:	048-832-3121
FAX番号:	048-831-9171
推奨用途:	工業用(着色料)
整理番号:	9206IM

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性:	分類できない
健康有害性:	分類できない
環境有害性:	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:	なし
注意喚起語:	なし
危険有害性情報:	該当しない
注意書き:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物
成分及び含有量:	青色1号 40%
	水 60%

【青色1号】

化学名又は一般名:	Brilliant Blue FCF, disodium salt
慣用名又は別名:	C.I. Food Blue 2
官報公示整理番号	化審法: 5-1732
安衛法:	公表
CAS No.:	3844-45-9
PRTR法:	該当しない
労働安全衛生法の通知物質:	なし

4. 応急措置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	汚染した衣類を脱ぎ、多量の水でよく洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合:	清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用 して容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、眼科医の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	水で口の中を洗浄すること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、水噴霧、砂類。
使ってはならない消火剤:	情報なし
火災時の特有の危険有害性:	燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物、硫酸化物などの 有害ガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法:	風上より消火剤を使用して行い、風下の人は避難させる。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は呼吸保護具、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置:

作業の際には適切な保護具を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項:
封じ込め及び浄化の方法・機材:
二次災害の防止策:

風上から作業し、風下の人を退避させる。
製品が河川に流入して環境に影響を起こすことのないように注意する。
拭き取る、真空中で吸い取るなど飛散しないようにして空容器に回収する。
回収した容器は密栓すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざける。
局所排気装置を設置し、換気のよい所で取り扱う。

安全取扱い注意事項:

吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように適切な保護具を着用する。
取扱いの都度、容器を密閉する。

接触回避:

情報なし

衛生対策:

取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件:

密封の上、室温暗所で保管する。

安全な容器包装材料:

ポリエチレン等

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度:

設定なし

日本産業衛生学会(2014年度版):

収載なし

設備対策:

取扱い場所には給排気設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具:

適切な呼吸器用保護具を着用する。

手の保護具:

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼、顔面の保護具:

取り扱いには保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具:

保護衣、保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

液体

色:

暗青色

臭い:

なし

融点／凝固点:

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲:

データなし

可燃性:

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界:

データなし

引火点:

データなし

自然発火点:

データなし

分解温度:

データなし

pH:

5.0～7.0

動粘性率:

データなし

溶解度:

水に可溶

n-オクタノール／水分配係数:

データなし

蒸気圧:

データなし

密度及び／又は相対密度:

データなし

相対ガス密度:

データなし

粒子特性:

データなし

燃焼持続性:

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:

データなし

化学的安定性:

室温で安定

危険有害反応可能性:

データなし

避けるべき条件:

高温、加熱、直射日光

混触危険物質： データなし
危険有害な分解生成物： 焼却した際、有害ガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物など）が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性： 情報なし ただし、青色1号：ラット 経口 LD50>2g/kg
皮膚腐食性／刺激性： 情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： 情報なし
呼吸器感受性又は皮膚感受性： 情報なし
生殖細胞変異原性： 情報なし
発がん性： 情報なし
生殖毒性： 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)： 情報なし
誤えん有害性： 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性： 情報なし
残留性・分解性： 情報なし
生体蓄積性： 情報なし
土壤中の移動性： 情報なし
オゾン層への有害性： 情報なし

13. 廃棄上の注意

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。スクラバーなどの除害装置が設置されている焼却炉で注意しながら少量ずつ焼却処分する。又は都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号 該当しない
品名 —
国連分類 —
容器等級 —
輸送の特定の安全対策及び条件 運搬に際して容器に破れや漏れのない事を確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止策を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報
陸上輸送 消防法等に定められている運搬方法に従う。
海上輸送 船舶安全法に定められている運搬方法に従う。
航空輸送 航空法に定められている運搬方法に従う。

15. 適用法令

該当しない

16. その他の情報

引用文献
独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) 化学物質管理分野
厚生労働省 化学物質 GHSモデルラベル・SDS情報
Lu, F. C., Lavallee, A.: Can. Pharm. J. 97, 30 (1964)

記載内容の取扱い

このSDSは現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。また、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。注意事項は通常の手配を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。